

# 生体内イメージングと CRISPRゲノム編集を用いた 自己反応性T細胞の生体内動態の解析

NIKON  
IMAGING  
CENTER



OSAKA UNIVERSITY

大阪大学・ニコソイメージングセンター  
シリーズセミナー 第14回

2023/1/18 (水) 16:00 - 17:00

川上直人 先生

LMUミュンヘン大学病院/生物医学センター  
臨床神経免疫学研究所 グループリーダー

自己免疫疾患である多発性硬化症の詳細な発症メカニズムは不明であるが、中枢神経特異的な自己反応性T細胞が中心的な役割を果たしていると考えられている。多発性硬化症の動物モデルである実験的自己免疫性脳脊髄炎、生体内イメージングやゲノム編集技術を用いて、自己反応性がどのような分子メカニズムで、どのように中枢神経系に侵入し、病態を引き起こすのか最近の知見を紹介する。

## 参加方法

会場：大阪大学・ニコソイメージングセンター（大阪大学医学系研究科 臨床研究棟 L階）  
ご所属、お名前記載の上、[register@handai-nic.com](mailto:register@handai-nic.com)宛にご連絡ください。

オンライン：ZOOMにて実施します。下記フォームよりお申込みください。  
<https://go.healthcare.nikon.com/l/924973/2023-01-09/2277ch>

\*本セミナーの録画配信はございません。

## お問合せ

株式会社ニコソリューションズ バイオサイエンス営業本部  
Email: [Nsl-bio.Marketing@nikon.com](mailto:Nsl-bio.Marketing@nikon.com)



オンライン  
申込フォーム